

第9期柏市高齢者いきいきプラン2.1の方向性について

1 計画の位置付け

(1) 老人福祉計画・介護保険事業計画との関係

この計画は、老人福祉法第20条の8に基づく「老人福祉計画」と介護保険法第117条に基づいた「介護保険事業計画」を一体のものとして策定しています。

(2) 柏市の上位計画との関係

この計画は、柏市第五次総合計画（2016年度（平成28年度）～2025年度（令和7年度））を上位計画とし、「柏市第五次総合計画」における高齢者の保健福祉に関する部門計画となるよう策定するものです。

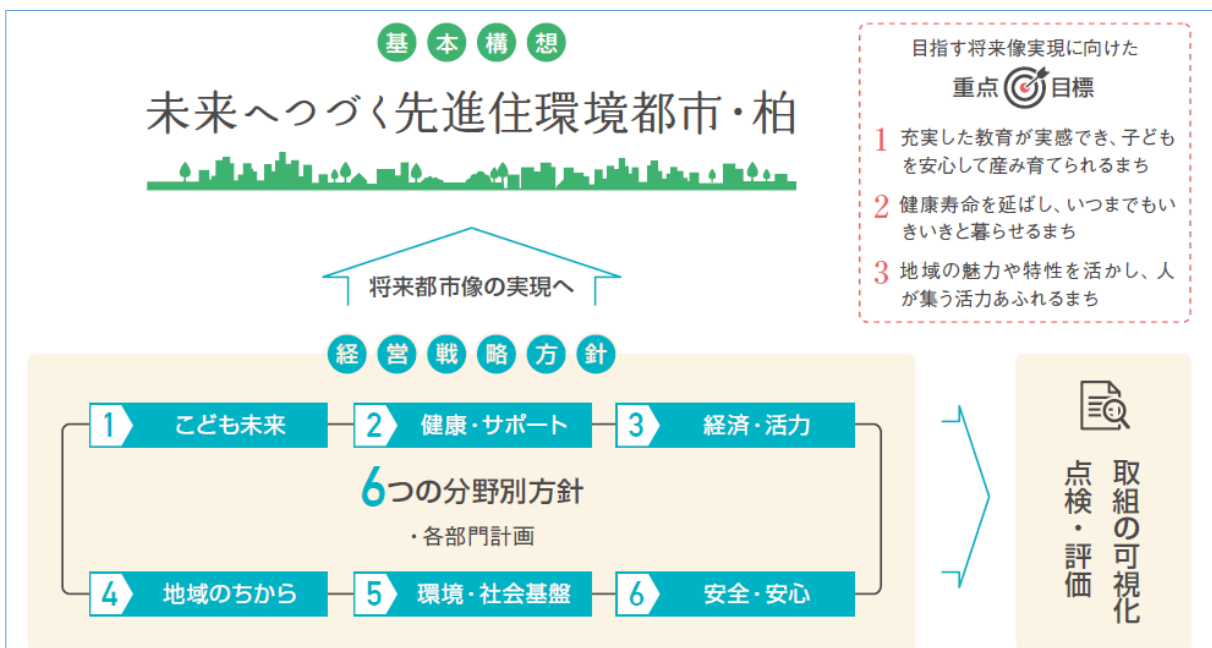
また、本計画は、地域健康福祉に関する理念と方向性を定めた第4期柏市地域健康福祉計画（2019年度（令和元年度）策定）における高齢者分野の計画としても位置付けられるものです。

ア 柏市経営戦略方針（柏市第五次総合計画後期基本計画）

（分野別方針2 健康・サポート：目指す状態）

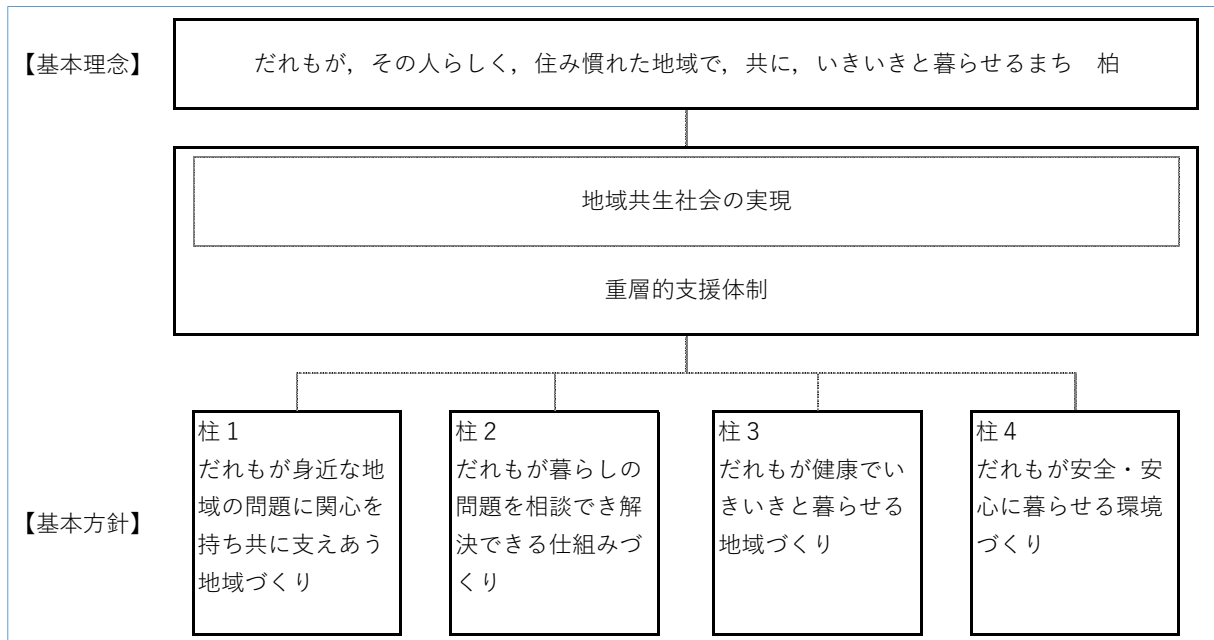
(ア) 健康づくり及び保険事業・介護予防（またはフレイル予防）の取組みを推進する体制が構築された、健康寿命の延伸と健康格差の是正が図られた社会環境

(イ) 地域や一人ひとりの実情に応じた地域包括ケアシステムの推進体制が構築された、人と人、人と社会がつながり支えあう取組が生まれやすい地域共生社会



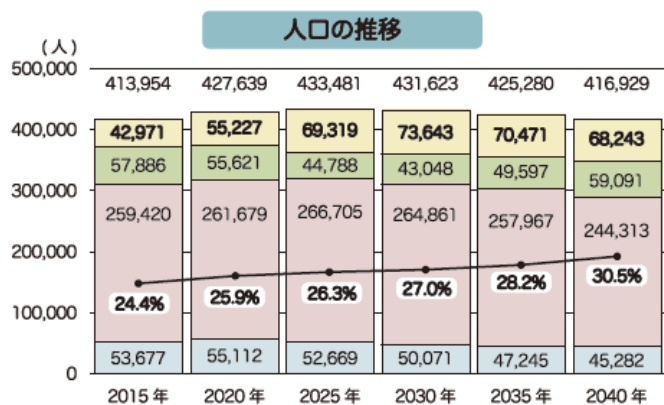
イ 第4期柏市地域健康福祉計画

柏市地域健康福祉計画の基本理念を達成するために不可欠な「地域共生社会の実現」に向け，横断的な整備体制（重層的支援体制）を構築していきます。



2 柏市の将来の見通しと社会背景

柏市では、2040年まで高齢者数は増加を続け、高齢化率は30%を超え、要介護認定者数が急増します。一方で、総人口及び現役世代は、2025年頃をピークに減少し、2040年には高齢者1人当たり1.9人の現役世代で支える社会が到来します。今後、高齢者を取り巻く課題はますます多様化・複雑化することが見込まれます。

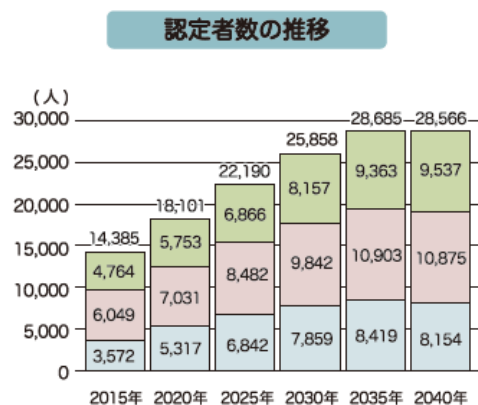


【棒グラフ】

上から、後期高齢者、前期高齢者、生産年齢人口、年少人口

【折れ線グラフ】

高齢化率



【棒グラフ】

上から、要介護3-5、要介護1-2、要支援1-2

そのような中、「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が2019年に可決、成立し、子ども・高齢者・障害者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会（地域共生社会）の実現と、2040年への備えに焦点が当てられました。

さらに、国では、介護保険制度改革の方向性として、健康寿命の延伸等に向けた「介護予防・地域づくりの推進」、地域特性等に応じた介護基盤整備等に向けた「地域包括ケアシステムの推進」、人材確保・生産性の向上に向けた「介護現場の革新」等が検討されています。

また、柏市では、第4期柏市地域健康福祉計画中間年度見直し版において、「地域共生社会の実現」に向け、制度の狭間に落ちることがないよう面での支援体制が可能な横断的な体制（重層的支援体制）を構築することを示すとともに、今年度より具体的な取り組みを開始しました。

3 計画の目指すもの

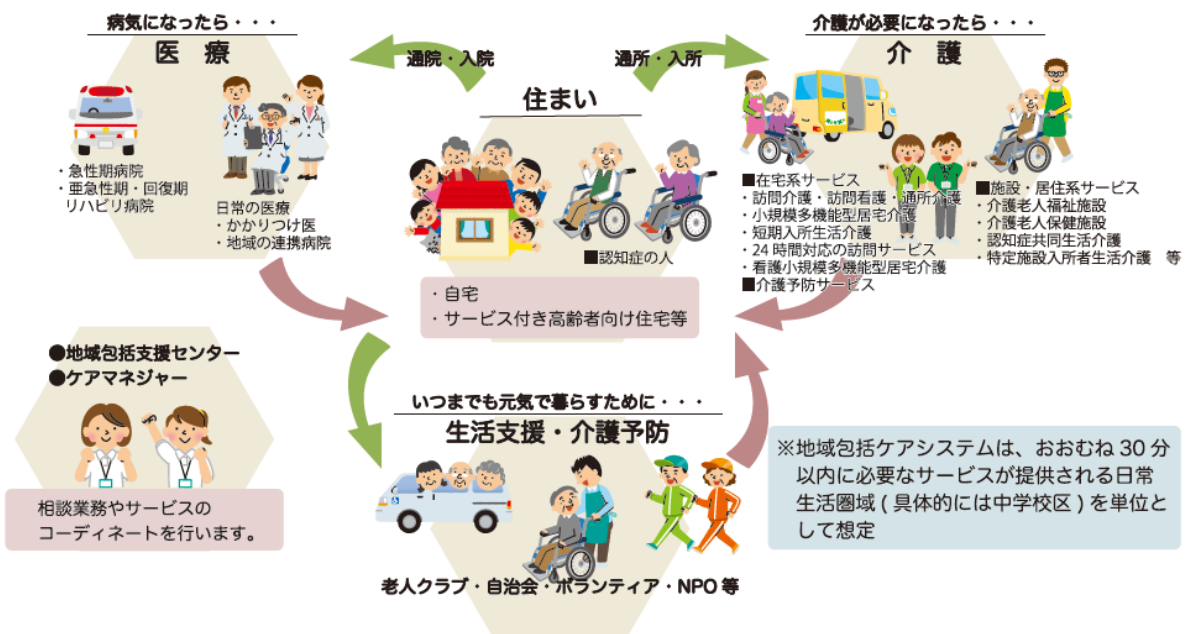
(1) 基本理念

すべての高齢者が、その人らしく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまち 柏

(2) 基本理念の達成に向けて

今後も少子高齢化が進む中、「支える側」、「支えられる側」という従来の関係を超えて、現役世代だけでなく高齢者も支え手として活躍できる地域づくりを進めます。行政、介護、医療、福祉等のサービス関係者と高齢者を含めた地域の住民が連携・協力して、地域包括ケアシステムを推進し、元気な高齢者も介護が必要な高齢者も「すべての高齢者が、その人らしく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまち 柏」を実現してまいります。

また、第9期計画では、地域住民と民間事業者、行政との連携・協働による地域福祉の推進や、健康寿命の延伸、中長期を見据えた介護保険制度の持続可能性の確保といった視点を踏まえ、第8期計画と同様に高齢者の状態像に応じた政策目標を設定し、それぞれの課題や方向性を踏まえた取り組みを検討します。



【参考】第8期計画 政策目標

基本理念

すべての高齢者が、その人らしく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまち 柏

基本理念の指標		単位	基準年度 基準値	目標値		
				2021年度	2022年度	2023年度
幸福感がある人の割合	要介護認定を受けていないかた (健康とくらしの調査)	%	2019 47.2		増加	
	要介護認定を受けているかた (柏市介護保険利用者アンケート)	%	2019 37.5		増加	

政策目標

健康寿命を延伸しいきいきと暮らせる

重点政策

1 フレイル予防・健康づくりの推進

2 多様な社会参加の促進

政策目標の指標	単位	基準年度 基準値	目標値		
			2021年度	2022年度	2023年度
初めて介護が必要になるかたの 平均年齢(介護保険システム)	歳	2019 80.7		上昇	

助けが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる

1 地域での支えあい体制の推進

2 多様な生活支援ニーズに対する支援

3 認知症施策の推進

政策目標の指標	単位	基準年度 基準値	目標値		
			2021年度	2022年度	2023年度
認知症のかたの在宅率 (日常生活圏域データ)	%	2020 63.2		増加	
軽度者(要支援1から要介護1) の要介護度の維持・改善率 (給付適正化システム)	%	2020 61.9		増加	

介護度が重度であっても望む暮らしを選択できる

1 介護サービス等の基盤整備

2 介護保険制度の持続可能性の確保

3 在宅医療・介護の連携の推進

政策目標の指標	単位	基準年度 基準値	目標値		
			2021年度	2022年度	2023年度
生活に満足していると答えた かたの割合(東大調査)	%	2020 35.5		増加	
要介護3以上のかたの在宅率 (日常生活圏域データ)	%	2020 49.6		増加	

意思が尊重され自立して暮らせる

1 地域包括支援センターの機能強化

2 権利擁護の充実

3 多様な主体との地域づくりの推進

政策目標の指標	単位	基準年度 基準値	目標値		
			2021年度	2022年度	2023年度
住んでいる地域に愛着があると 答えた人の割合 (健康とくらしの調査)	%	2019 79.0		増加	

4 今後の策定スケジュール（予定）

	令和4年度									令和5年度										
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分科会の開催			●				●			●		●			●	●	●		●	
調査	調査内容の検討			調査実施			結果集計・報告書作成													
総論	政策目標，重点施策等の検討・作成																			
各論													各論の検討・作成							
保険料等推計													保険料等推計							
パブリックコメント																		●		
計画書策定																				●